



ねんしんねん しきょう
2012年新年の司教メッセージ

しんこう のぞ ことがら かくしん
信仰とは、望んでいる事柄を確信し、
み じじつ かくにん じん てがみ
見えない事実を確認することです。(ヘブライ人への手紙11:1)

きょうく きょうだいしまい みなさま
さいたま教区の兄弟姉妹の皆様へ

しんねん
クリスマスおめでとうございます。そして、新年おめでとうございます。

ねん ひがしにほんだいしんさい お どうほく きょうく ない こうはんい およ ひがい
2011年は東日本大震災が起り、東北だけではなく、さいたま教区内でも広範囲に及ぶ被害があ
りました。皆様から、そして国内・海外からも多くの支援が寄せられました。この場を借りてお礼申
し上げます。被害にあった教区内の施設については皆様が力を合わせて復旧に取り組んでくださ
いました。また、被災地であったにもかかわらず、皆様が東北の被災地を支援してくださいました。わ
たしは皆様に敬意を表します。そして、皆様のことを誇りに思っています。

どうほく しえんかつどう なか たこくせききょうかい さまざま しえん で き すば た
東北への支援活動の中で、多国籍教会として様々な支援が出来たことは素晴らしいことでした。炊
き出し一つをとっても、メニュー、歌や踊りなども国際色豊かなものでした。それは被災地の人々に
よろこ う い きょうく おこな けいちょう ようせい
喜びのうちに受け入れられました。また、これまで教区として行ってきた傾聴ボランティアの養成
講座も功を奏し、被災地での傾聴ボランティア活動もスムーズに始めることができました。

たこくせききょうかい きょうどうたいづく けいちょう ようせい きょうく ゆうせんかだい
この多国籍教会としての共同体作り、傾聴ボランティアの養成などは「さいたま教区の優先課題」
ねんかんと く さまざま かだい と く ひがしにほん
として10年間取り組んできたものでした。そのほかにも様々な課題に取り組んできました。東日本
だいしんさい ひさいしやしえん みなさま ゆうせんかだい と く せいか あらわ い
大震災の被災者支援において、皆様の優先課題への取り組みが成果として表れたと言えるでしょう。

ねん ねん きょうく ゆうせんかだい みなお さくねん がつ
わたしたちは2010年から1年かけて「さいたま教区の優先課題」を見直し、昨年(2011)の9月に「さい
たま教区宣教司牧の基本方針と優先課題(2011~2020年)」を策定しました。この新しいものが
できたのも、皆様がこれまでの優先課題について話し合い、理解を深めてくださったからです。新し
い優先課題に取り組むことを通して、現代社会のただ中でキリストと出会いながら、キリストの教え
しんこうきょうどうたい なか とち まな とち いの おお ひとびと とち ふくいん い つた ちから あふ
を信仰共同体の中で共に学び、共に祈り、多くの人々と共に福音を生き、そして伝える力の溢れる
きょうどうたい おち
共同体をめざしていきたいと思います。(1)

だいしんさい まんにん かたがた いっしゆん な わたし おお
大震災では2万人もの方々が一瞬のうちに亡くなりました。このことは私たちにとって大きな
しょうげき わたし し ま あ たりにし、死と復活、生きることの意味を見つめ直す
衝撃でした。私たちは死というものを目の当たりにし、死と復活、生きることの意味を見つめ直す
ことになりました。また、かぞく きずな ちいき きずな たいせつ じっかん
家族の絆、地域の絆がいかに大切なものであるのかを実感させられまし
た。にちじょう せいかつ なか し ふっかつ み い いま せい いみ
日常の生活の中で死と復活を見すえながら生きるということは、今の生を意味あるものとして
一日一日を生活していくことです。それは一人ひとりの出会いを大切に、絆を強めていくことに
もつながるでしょう。わたし きょうかいきょうどうたい なか おな しんこう で あ きずな たいせつ み
私たちの教会共同体の中でも同じように信仰による出会いと絆の大切さを見
直していければと思います。しん と し ぼくしゃ とも おな かこ はな あ しゅ めく わ
信徒、司牧者が共に同じテーブルを囲み、話し合い、主の恵みを分かち
あ きょうどう きょうだいし まい ゆた せいちょう
合って協働し、兄弟姉妹として、より豊かに成長することをめざしていきましょう。(2)

あたら ゆうせんか だい ひと ひがし にほんだいしんさい ふっこうしえん あ しんさい ふっこうしえん
新しい優先課題の一つに「東日本大震災の復興支援」が挙げられました。震災の復興支援はこれ
からも長期にわたって続けなければなりません。かせつじゅうたく す ひと しえん ふっこうしえん
仮設住宅に住んでいる人々への支援も復興支援の
おお はしら ひさいち かたがた で あ たいせつ おも ひがしにほん
大きな柱です。これからも被災地の方々とのお会いを大切にしていきたいと思ひます。また、東日本
だいしんさい ひさいち しゃかい なか きょうかい なか おお ひとひと なや くる
大震災の被災地ばかりでなく、社会の中で、また、教会の中でも多くの人々が悩み、苦しんでいます。
すべての人々が人間らしく生きることができるよう、共に祈り、連帯し、行動していきましょう。

(3)

パウロはヘブライ人への手紙の中で「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認す
ることです」と述べています。あたら とし はし
新しい年の始まりにあたって、このパウロの言葉を黙想し、希望の
うちに あたら とし あゆ はじ おも きぼう みちび かみ かんしゃ
新しい年を歩み始めたいと思ひます。わたしたちを希望のうちに導いてくださる神に感謝し、
みなさま しんねん しゅくふく
皆様に新年の祝福をおくります。

十 ぜんのう かみ ちち こ せいれい しゅくふく みなさま うえ
全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆様の上にありますように。

ねん がつ にち
2012年1月1日

きょうく しきょう
さいたま教区司教

マルセリーノ たに だいじ
谷 大二

(1) 「さいたま教区宣教師の基本方針と優先課題 (2011~2020年)」 基本方針 1

(2) 同 基本方針 2

(3) 同 基本方針 3